



落語

さんゆうていこゆうざ
三遊亭小遊三

落語家

古典落語を得意とし“滑稽噺の名手”と称され、スポーツマンらしいイキイキとした高座が評判の人気落語家。明治大学経営学部在学中に、三遊亭遊三(ゆうざ)に入門。1983年 真打昇進。現在、日本テレビ系「笑点」でレギュラー出演中。

■職歴・経歴

1947年 山梨県大月市出身

1968年 明治大学経営学部在学中に、三遊亭遊三に入門

1969年 大学卒業と同時に前座、三遊亭遊吉の名で高座にあがる

1973年 三遊亭小遊三となり、二ツ目昇進

1980年 芸術祭優秀賞受賞(「芸協五人衆」に参加)

1983年 真打昇進

2001年 芸術祭優秀賞受賞(「小遊三特選三夜」により)

2005年 落語芸術協会副会長に就任。

2018年 落語芸術協会会長桂歌丸の死去に伴い会長代行に、副会長在職のまま就任。

2019年 落語芸術協会理事(会長代行兼副会長)を退任し、参事に就任。

落語界きってのスポーツマンとしても知られ、東京オリンピックの聖火ランナーを務めた経験もある。

1966年 山梨県卓球選手権で優勝。「らくご卓球クラブ」でヘッドコーチを務める。

1998年から、世界ベテラン卓球選手権大会に出場。50代の部シングルス決勝トーナメントに進出(5回)、50代の部ダブルス決勝トーナメント進出(3回)。

また、噺家バンド「にゅうおいらんず」を結成し、毎年8月上席(かみせき)に浅草演芸ホールで特別興行。

現在、日本テレビ系「笑点」でレギュラー出演中。